

事業群評価調書(令和6年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	地域振興部 新幹線対策課	川口 正剛
施策名	2 九州新幹線西九州ルートの整備と開業効果の拡大	事業群関係課(室)	都市政策課	
事業群名	① 九州新幹線西九州ルートの整備促進	令和5年度事業費(千円)	※下記「2. 令和5年度取組実績」の事業費(R5実績)の合計額 3,593,570	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)							
九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～長崎)は、交流人口の拡大や産業振興につながる重要な交通基盤であることから、令和4年秋の着実な開業を目指します。また、新鳥栖～武雄温泉間については、西九州地域の発展に大きく寄与するフル規格による整備の早期実現を目指します。 また、九州新幹線西九州ルートの整備に伴い、上下分離方式に移行することとなるJR長崎本線(肥前山口～諫早)は、令和4年秋の西九州ルート開業に合わせ、確実な実施に向けて取り組んでいきます。		i) 西九州ルートの令和4年秋までの開業と全線フル規格化の実現 ii) JR佐世保線の輸送改善に向けた取組 iii) 西九州ルートの早期完成・開業を目指した整備促進 iv) 開業を契機とした関係市町と連携したまちづくりの推進							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 武雄温泉～長崎間については、令和4年9月23日に、武雄温泉駅での対面乗換方式による開業を迎えた。 一方、新鳥栖～武雄温泉間については、令和元年8月に与党PT検討委員会からフル規格による整備が適当であるとの基本方針が示され、現在、国土交通省と佐賀県の間での協議や与党での検討をはじめ、関係者間での議論が行われている。 フル規格による整備の早期決定に向けて、県では、地方負担や並行在来線等の課題解決を図るよう、政府・与党やJR九州に対して要請等を実施した。
	九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～長崎)の開業	目標値①	—	開業				開業(R4)	
	実績値②	—	—	開業				進捗状況	
		達成率②/①	—	—				達成	

2. 令和5年度取組実績(令和6年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事業事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和5年度事業の成果等	
				R4実績	うち一般財源	人件費(参考)		R4目標	R4実績	達成率		
取組項目 i	○	1	新幹線・鉄道整備促進事業	370,780	370,780	38,265	●事業内容 ・全線フル規格の実現に向けた国等への要望活動や情報収集、県内向けの広報・啓発活動 ・県内鉄道網の整備ならびに改善の促進 ●実施状況 ・政府・与党、国土交通省、財務省等へ全線フル規格の早期実現を要望した。 ・長崎新幹線・鉄道利用促進協議会と連携し、JR九州へ鉄道網の整備促進に関する要望を実施した。 ・長崎新幹線・鉄道利用促進協議会と連携し、イベントや公共交通機関車両を活用した広報活動、ノベルティグッズ製作等を実施した。 ・上下分離方式での運営へと移行したJR長崎本線(江北～諫早)の鉄道施設の維持管理を実施した。	【活動指標】	数値目標なし		9	—
				662,613	385,513	38,295		【活動指標】	数値目標なし	3	—	
				831,108	309,658	38,905		【活動指標】	数値目標なし			
						【成果指標】		数値目標なし	開業	—		
			H7-				【成果指標】	R5: JRIによる府県相互間旅客輸送人員 [関西・中国・福岡県～長崎県(千人)]	2,305	算定中	—	
			新幹線対策課	—	○	—			2,305			

取組項目 iii	○	2	新幹線整備事業費負担金	4,445,401	424,345	19,133	●事業内容 新幹線開通に伴う環境対策及び減濁水対策事業、安全対策事業を実施 ●実施状況 「環境対策」 ・建物日陰補償:完了 ・テレビジョン電波受信障害対策:完了 「減濁水事業対策」80% 「安全対策」 ・脱線防止ガードの設置:75%	【活動指標】 数値目標なし 4,445,401 —	数値目標なし 2,271,245 —	●事業の成果 ・建物日陰補償及びテレビジョン電波受信障害対策への対応が完了した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・九州新幹線西九州ルートの建設に寄与した。	
				2,271,245	54,948	15,318					
				2,903,221	172	15,562					
				—	—	—					
		H19-									
		都市政策課	—	○	—	鉄道・運輸機構	【成果指標】 数値目標なし — —	数値目標なし — —			
取組項目 iv	○	3	長崎駅周辺連続立体交差事業促進費	24,212	22,554	10,754	●事業内容 JR長崎本線連続立体交差事業の実施に伴う駅前広場等の整備に関するデザイン調整を実施する。 ●実施状況 R5年度は、デザイン検討会議を1回開催し、駅前広場等の整備に係るデザインの調整を行った。	【活動指標】 3 3 100%	2 2 100%	●事業の成果 「長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画」に基づいたデザイン調整を行い、駅前広場の工事を実施した。	
				57,848	47,910	10,031					
				19,100	16,300	10,115					
				—	—	—					
			H19-								
			都市政策課	—	○	—	長崎市、JR九州	【成果指標】 長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画テーマの達成項目(個) 1 1 100%	1 1 100%	●事業群の目標達成への寄与 駅舎等の施設・公共空間のデザイン調整により、西九州新幹線の開業を契機としたまちづくりの推進に寄与した。	
	○	4	長崎駅周辺連続立体交差事業(公共)	462,893	10,551	—	●事業内容 高架切替(R2.3.28)後における側道の改良工事等を実施する。 ●実施状況 R5年度は、側道の改良工事等を実施した。	【活動指標】 3 3 100%	2 2 100%	●事業の成果 工事説明会の実施により住民の理解を得て、工事を実施した。 ●事業群の目標達成への寄与 JR長崎本線の高架化により、西九州新幹線の開業を契機としたまちづくりの推進に寄与した。	
				595,148	8	—					
				2,155,352	92	—					
				—	—	—					
			H21-								
			都市政策課	—	—	○	JR九州	【成果指標】 事業進捗率(%) 97 97 100%	96 96 100%		
○	5	長崎駅周辺連続立体交差事業(単独)	103,141	52,757	3,841	●事業内容 高架切替(R2.3.28)後における側道の改良工事等を実施する。 ●実施状況 R5年度は、側道の改良工事等を実施した。	【活動指標】 3 3 100%	2 2 100%	●事業の成果 工事説明会の実施により住民の理解を得て、工事を実施した。 ●事業群の目標達成への寄与 JR長崎本線の高架化により、西九州新幹線の開業を契機としたまちづくりの推進に寄与した。		
			6,716	3,359	3,086						
			482,815	110	3,112						
			—	—	—						
		H22-									
		都市政策課	—	○	—	JR九州	【成果指標】 事業進捗率(%) 97 97 100%	96 96 100%			

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 西九州ルートの特4年秋までの開業と全線フル規格化の実現</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 新鳥栖～武雄温泉間の整備のあり方については、現在、政府・与党での検討をはじめ、関係者間で議論が行われている。在来線や地方負担等の課題の解決に向け、それぞれの場で精力的に協議を積み重ね、議論を進展させることが必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 地方負担や並行在来線等の課題解決を図り、関係者が納得する形で早期に整備が実現できるよう、西九州地域全体の視点から、議論を積み重ね、関係者との協議をもつなど、全線フル規格による整備の早期実現を目指していく。</p>
<p>ii JR佐世保線の輸送改善に向けた取組</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 JR九州及び佐世保市と協議を重ね、令和4年9月の九州新幹線西九州ルートの開業に合わせて、JR佐世保線の高速化事業を実施することができた。引き続き、佐世保線の利便性を向上していく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 JR佐世保線の利便性向上に向けて、佐世保市と連携しながらJR九州に継続して働きかけていく。</p>
<p>iii 西九州ルートの特早期完成・開業を目指した整備促進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 西九州ルートは令和4年9月23日に開業し、着実に工事を進めることができた。令和7年度までは残事業(高架下等の工事や環境対策対応)を実施予定である。残事業にあたっては、特に課題は無い。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 残事業(高架下等の工事や環境対策対応)が早期に完了できるよう、鉄道・運輸機構や地元市町等と連携し、進捗を図っていく。</p>
<p>iv 開業を契機とした関係市町と連携したまちづくりの推進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 長崎駅周辺連続立体交差事業については、令和2年3月28日に高架化が完了しており、残事業は側道整備となっている。側道整備にあたっては、特に課題は無い。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 令和5年～令和6年にかけ側道整備を行う。</p>

注:「2. 令和4年度取組実績」に記載している事業のうち、令和4年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

#### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しできているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理できているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改革要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点